

共に創り、育て、守り続ける  
健幸都市 宇陀の未来を拓く 交通まちづくり

# 1. 宇陀市の現状 ①

## ■宇陀市における地域公共交通の現状

- ①市域が**広大**（4町村が合併したことによる）
- ②鉄道駅までの距離が遠く **自動車が必要**
- ③**収益性が低く** 生活バス路線の維持が困難
- ④地域公共交通が**不便で利用者減**が止まらない  
・利便性 ・費用
- ⑤これまで廃止路線もあり、**廃止代替措置**としてバス以外の運行を行っている
- ⑥**人口減少(人口流出)の大きな原因**の1つ
- ⑦住民アンケートでも**最重要課題**の1つ

広域的な交通アクセスには恵まれているが、**地域内公共交通が不足**している



# 1. 宇陀市の現状 ②

## ■ 高齢化の状況

(単位:人)							
地域	地域人口	18歳まで	23歳まで	15～64歳まで	65歳以上	70歳以上	75歳以上
大宇陀地域	5,445	9.8%	13.0%	46.9%	46.7%	37.2%	26.4%
菟田野地域	3,252	14.0%	17.2%	45.6%	44.3%	35.7%	24.3%
榛原地域	14,488	12.3%	17.5%	50.2%	41.8%	33.8%	24.5%
室生地域	3,757	8.7%	13.0%	44.1%	50.3%	41.3%	30.0%
総合計	26,942	11.5%	15.9%	48.1%	44.3%	35.8%	25.6%

参考:各地域高齢化率 (令和7年3月1日現在)

年齢区分		平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)
人数	総人口	30,574	29,911	29,306	28,703	28,090	27,403	26,814
	0～14歳	2,762	2,618	2,537	2,428	2,326	2,223	2,081
	15～64歳	15,823	15,234	14,666	14,138	13,679	13,192	12,826
	65歳以上	11,989	12,059	12,103	12,137	12,085	11,988	11,907
構成比	総人口	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	0～14歳	9.0%	8.8%	8.7%	8.5%	8.3%	8.1%	7.8%
	15～64歳	51.8%	50.9%	50.0%	49.3%	48.7%	48.1%	47.8%
	65歳以上	39.2%	40.3%	41.3%	42.3%	43.0%	43.7%	44.4%

## ■ 買い物難民(食料品アクセス困難人口)

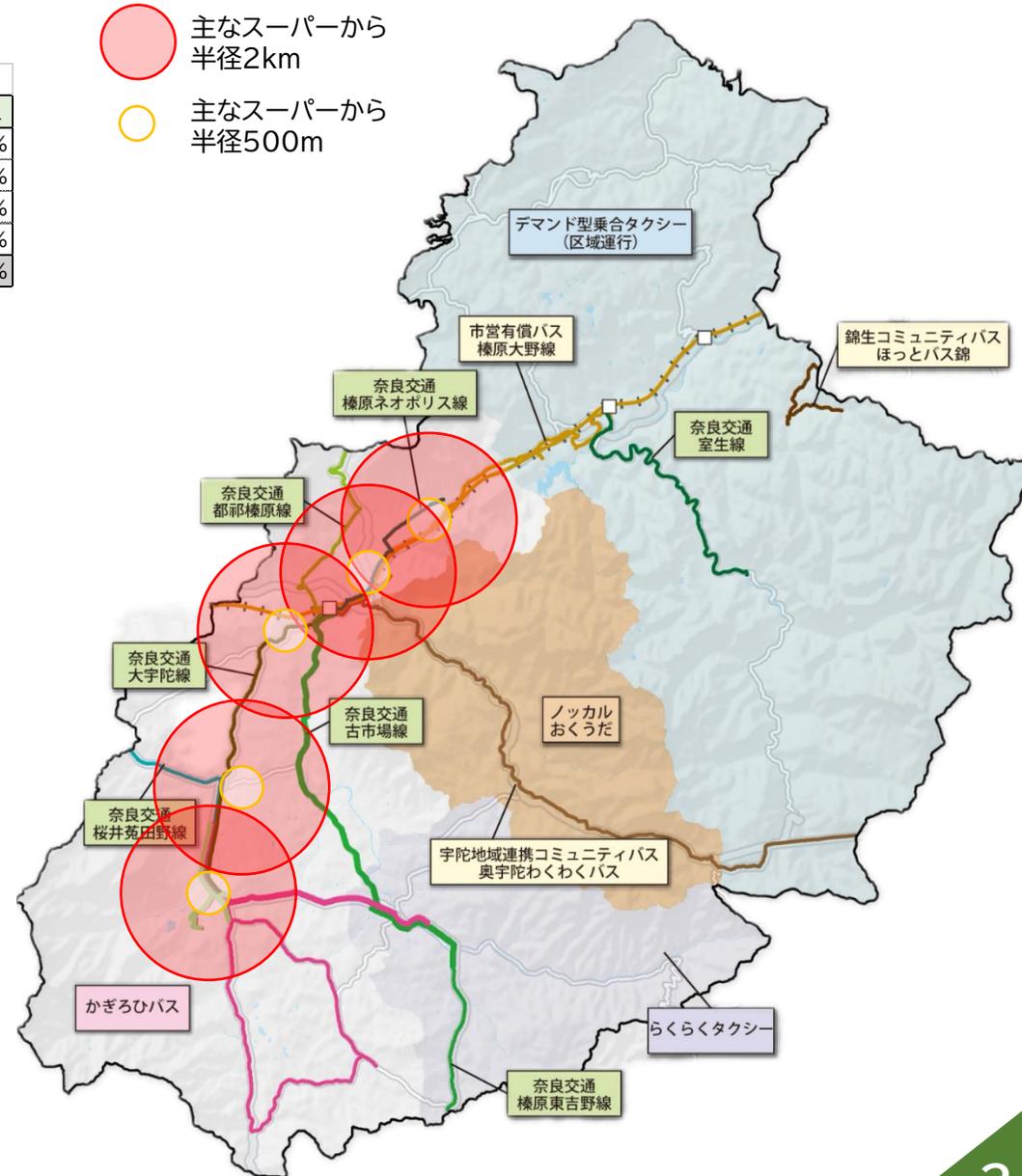
### ■ 食料品アクセス困難人口

食料品アクセス困難人口とは、店舗まで500m以上かつ自動車利用が困難な65歳以上高齢者を指します。

### ■ 市内で生鮮食料品等を購入できる主な店舗

- (榛原地域)・サンクシティ・プライスカット・ココカラファイン  
・Aコープ・ドラッグストアコスモス  
・リカーショップエポック・コンビニ6店舗
- (大宇陀地域)・スーパーモリカワ・ドラッグAOKI  
・ココカラファイン・コンビニ2店舗
- (菟田野地域)・コンビニ1店舗

- 主なスーパーから半径2km
- 主なスーパーから半径500m



## 2. 宇陀市における地域公共交通の概要

### ①近鉄大阪線

…榛原駅・室生口大野駅・三本松駅

### ②奈良交通バス路線(7路線)

…桜井菟田野線※・古市場線※・榛原東吉野線※  
都祁榛原線※・大宇陀線※・榛原ネオポリス線・室生線

### ③市営有償バス

…榛原大野線・かぎろひバス※(榛原～室生地域・大宇陀南部地域)

### ④コミュニティバス

…奥宇陀わくわくバス※・ほっとバス錦(榛原～曾爾,御杖・室生～名張)

### ⑤デマンド型タクシー

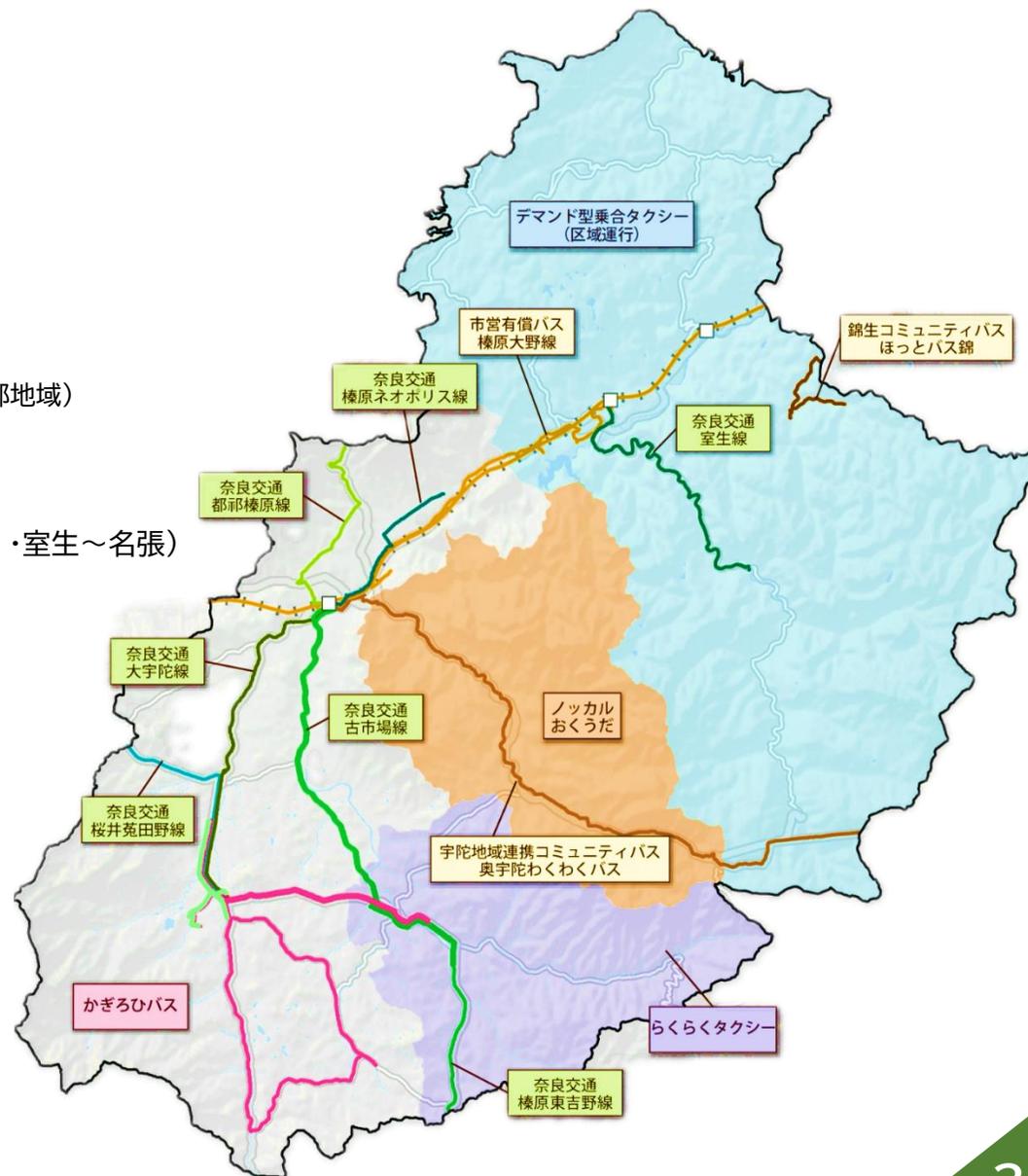
…デマンド型乗合タクシー※(室生地域全域)

### ⑥タクシー利用補助

…らくらくタクシー※(菟田野地域全域)

### ⑦公共ライドシェア

…ノッカルおくうだ※(榛原内牧地域)



※国庫または県費による財政支援により運行

## 2. 宇陀市における地域公共交通の概要 ①

### 市有償バス(榛原大野線)

【民間事業者に委託】

宇陀市役所から室生地域事務所間を1日5往復運行(平日のみ)。  
市立病院、Aコープ、美榛苑、めく森の郷など区間内のバス停に停車。  
料金は360円(1区間180円)。

### 市営有償バス(かぎろひバス)

【地元まち協が運行】

令和3年より運行。住民が有償ボランティアで運転手を務める。  
事前予約した住民の自宅から目的地へ1日3往復(平日のみ)。  
料金は300円。停留所はスーパー、病院、道の駅、あきの湯、地域事務所等。

### コミュニティバス(ほっとバス錦)

【名張市まち協で運営】

平成20年より運行。以前、運行していた三重交通路線の廃止代替バス。  
名張市錦生地域が運行主体となり、民間運行事業者に運行委託している。  
1日4往復(平日のみ)。料金は500円(地域内200円)。  
停留所は室生龍口から名張市錦生地域・名張駅・名張市役所等。

定時定路型  
運行



## 2. 宇陀市における地域公共交通の概要 ②

### デマンド型乗合タクシー

【奈良交通に委託】

自宅や指定場所から室生地域内の目的地までタクシー車両により運行。  
事前に利用者登録と予約申し込みが必要。1日6便。  
料金は520円(各エリア内310円)。

### タクシー利用補助(らくらくタクシー)【地元タクシー事業者が運行】

令和5年より運行。菟田野全域と菟田野地域内から大宇陀道の駅まで  
400円(超える部分は市が負担)。古宮タクシーに予約を入れ、自宅か  
ら目的地までドア・ツー・ドアで利用可能(平日8時~17時)。

### マイカー乗り合い公共交通サービス(ノッカルおくうだ)

【地元まち協がドライバー登録】

内牧地域内の停留所から榛原地域内の病院や買い物先まで、住民が自身の  
マイカーを使って近隣住民を送迎する住民互助型の公共交通サービス。  
事前に利用者登録と予約申し込みが必要。1日7便。  
料金は500円(内牧地域内200円)。

デマンド型  
運行



# 3. 内牧地域の概要

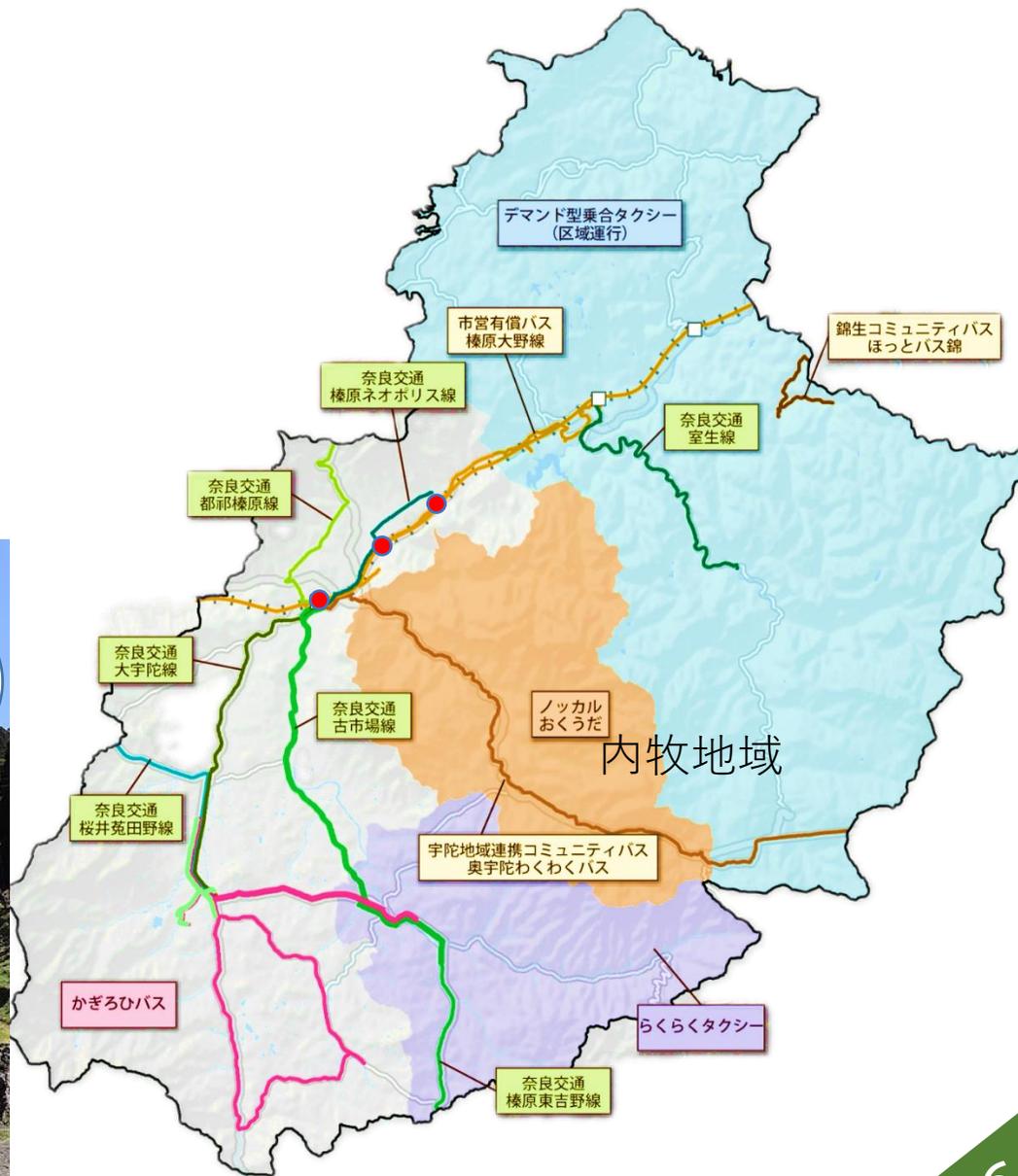
## ■内牧地域まちづくり協議会

人 口: 850人

高齢化率: 55%超

対象区域: 内牧・八滝・諸木野・赤埴・高井  
自明・檜牧・荷阪

中心地から市街地までの距離: 約6km



県内最大最古の  
千年桜と  
大和茶発祥地の  
佛隆寺



「住民同士の助け合いの気持ち」で  
健幸・元気なまちづくりを実現する  
ノッカルおくうだ

## ノッカルおくだの原点

地域内のつながりが強い内牧だからこそ、  
従来のご近所付き合いの一環として、  
「助け合い送迎」は行われてきた。  
しかし、法的な位置づけがないボランティア送迎は、  
**安全性、持続性の面で課題が残り、**  
**根本的な移動課題の解消には至らない。**

送ってあげたいけど、  
万が一のとき  
心配だなあ……



双方に心理的ハードル

いつもタダで  
乗せてもらうのは  
気兼ねしてしまうわ



住民同士の  
助け合う気持ち

+



=

続けていくのは難しい。

住民同士の  
助け合う気持ち

+

サービス化による  
対等性/安全性

=

ずっと続けられる。

### 「お互いさまの気持ちを尊重し、サービスとして丁寧にカタチできないか」

# 5. “奈良県発” マイカーを使った公共交通サービス



ノッカルおくだ

タクシーのように、「好きな場所から好きな場所への移動」ではなく、「路線」「乗車場所」「ダイヤ」「運賃」を定めた「地域の共助」のサービスです



▶県政フラッシュ  
テレビ放送



▶奈良テレビ放送  
ニュース

## 移動のついでがある地域の人 (ドライバー)



朝9時 でよければ、  
出勤のついでに  
誰か乗せてあげられるから、  
登録しておこう。

→ 登録

8:00	
9:00	●
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	

## 移動したいという需要のある 地域の人 (利用者)

朝9時ごろに、  
駅まで  
行きたいんだけど……

8:00	
9:00	●
10:00	
11:00	

あつ、  
ちょうど移動する人がいる！  
乗せてもらおう！

→ 予約



予約期限は  
前日16時半まで

朝9時、乗降場所で待ち合わせ

ついでに  
乗っかる？



ご近所さん  
ありがとう

# 5. “奈良県発” マイカーを使った公共交通サービス

## ■運行概要

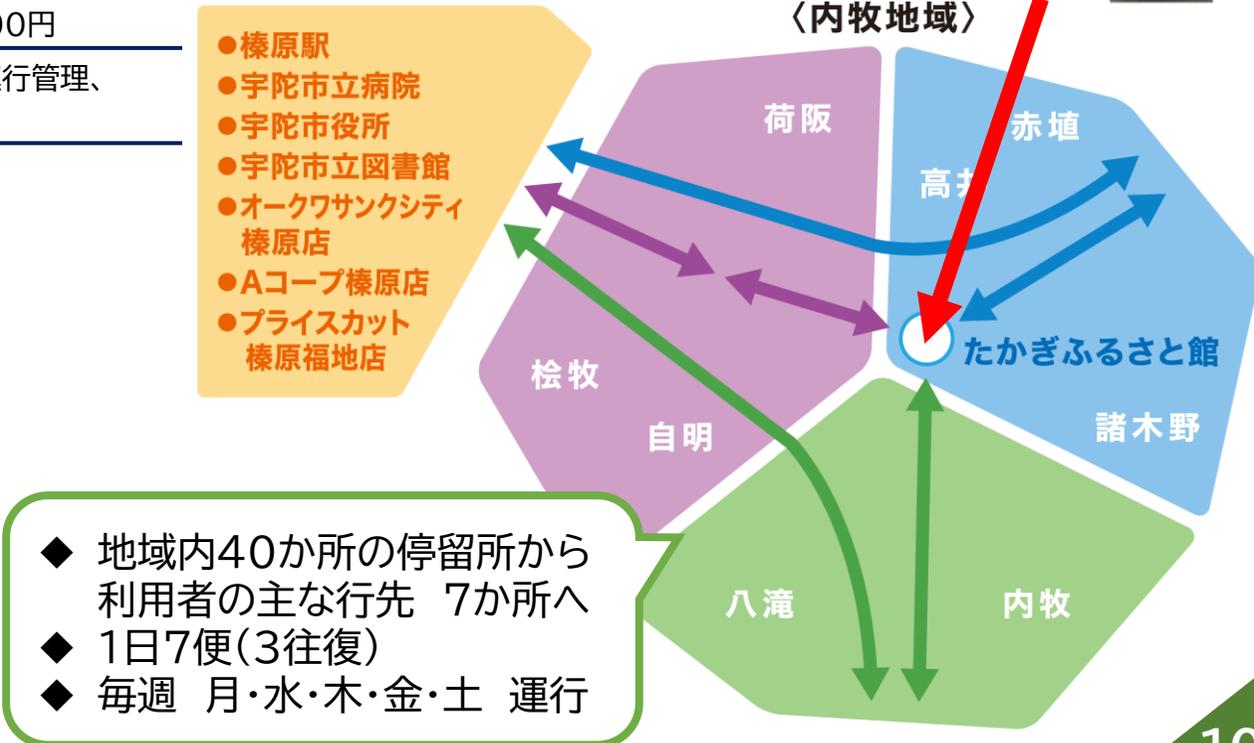
運行期間	令和7年9月1日 ~ 令和8年3月30日（実証運行）
運送主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
利用日	・内牧地域⇄榛原駅周辺：月、水、土曜日 運行 ・内牧地域⇄たかぎふるさと館：木曜日 運行
利用方法	・会員登録制（宇陀市民に限る） ・前日16時30分までにLINEまたは電話で予約
運送の対価等 （片道チケット制）	・各地域から市街地行きコース 1回 500円 ※ドライバー報酬 400円/回 ・移動診療車 受診コース 1回 200円
その他	事業者協力型として、奈良交通と運行管理、予約受付を連携

UMCは  
毎週木曜日



## ■運行実績（2025年12月末現在）

- ・ 運行期間： 7か月
- ・ 地域内ドライバー数： 20人
- ・ 利用登録者数： 106人
- ・ 利用延べ人数： 146人（20人/月）
- ・ 運行回数： 90回（13回/月）



### 01 利用促進

「いずれはお世話になる」と言いながら、ギリギリまで自分で運転、家族の支援。  
→楽しさ・便利さ・お得感の追求が鍵

### 02 担い手・ドライバーの確保

70代でも、まだまだ現役の働き手。平日のドライバー確保が難航。  
メンバー全員の高齢化は止められない →後継者の育成が必須

### 03 デジタルの壁

「事前予約が面倒」「LINEが使えない」「スマホ操作に不安がある」。  
「アプリ操作が難しい」 →誰もが安心して簡単に利用しやすいシステムに

## 6. 懸念される事項・今後の課題



Keep Going!

冬季運行、路面凍結  
が心配ですね

停留所から遠い人の  
ケアをどうするか？

まち協イベント時の  
送迎に活用したい

急なキャンセルに  
どう対応するか

既存バス・タクシー  
利用増にも  
つながれば

事故が起こった際、  
初動をどうするか？

お出かけイベントを  
開催して、事業PRを

# Objective

宇陀市の目指す 交通まちづくり

「**健幸都市**(ウェルネスシティ)」の実現

まずは

移動手段を確保することで、

お年寄りが外に出て、

人と交流し、

心身ともに健幸に暮らせるまちに



# Challenge

「移動手段の提供」という地域活動を通じて  
 「お互い様」という共助文化を、  
 現代の仕組みとして再定義し、  
 希薄化するコミュニティを再生

挑戦



# Message

行政や民間事業者だけでは**地域交通**を守りきれない時代  
 住民が「**自分ごと**」として捉え、共に創る。  
 そして「**守り・育てる**」。

「**共創**」こそが、これからの地域公共交通に**必要不可欠**

## 前提条件！

- ・安全性・公共性の担保
- ・多様なプレイヤーの参画
- ・柔軟な支援制度
- ・財源
- ・相互理解



なにより熱意！

# 地域 みんなでつくる 新たな交通サービス

## これからの まほろばの未来を切り拓く



▶ 県政フラッシュ  
テレビ放送



▶ 奈良テレビ放送  
ニュース